

相沢小学校のピア・サポート・プログラム計画

学校教育目標

- 心と体を鍛えて、何事にもねばり強く取り組むようにします『体』
- 学習に真正面から取り組めるようにします『知』
- 周りの人のことをよく考えて行動するようにします『公』『徳』
- 人と触れあう喜びを実感できるようにします『開』

学校教育目標を実現するための一つの方法を具体的に考える…

自分の仲良しの友達にしか関心がないようだ。

社会生活・家庭生活の変化
(異年齢集団遊びの減少や戸外遊びの減少・親の関わり方)

子どもの姿
(自分の気持ちをうまく伝えるとができない・相手の気持ちを十分に考えることができない。など)

社会性の基礎が不十分
人間関係能力の未発達・未成熟

些細な事で、大きなもめごとになっている事が多い。

ピア・サポート・プログラムとは

という
実態から

ピア・サポート・プログラムで学校づくりに取り組む。

社会性が未熟・未発達で、対人関係が苦手な今の子どもたちのために、子ども同士が関わりあい、育ちあう場を、学校内につくりだしていく、「学校づくり」のためのプログラム

ゲームやロールプレイングを活用した体験的なトレーニングを通して、子ども達に人と関わりあうことの楽しさを味わわせ、そこでの気づきを生かした活動をする中で最終的には、子ども同士が支えあうような関係をつくりだす取り組み。

「6年生が変われば、学校が変わる」という視点から、社会性の基礎の欠落を補う下地づくりのためのトレーニングを行った6年生が、異学年交流(1年生とのお世話活動)を通して、自覚と自己有用感が育成される。このことは下学年にもよい影響を与え、ひいては全校児童が互いに支えあい育ち合う学校に変わる。

見通し

小中9カ年を見通したプログラム

広がり

小中の連携による子どもへの支援

東野中学校

ピア・サポート・トレーニングを受けた2年生のチャレンジタイムへの参加。小学生の活動を中学生がフォローすることで中学生を育てる。

ピア・サポート・プログラムの年間活動計画

第5学年後期：領域1

6つのステップによるトレーニング
幼稚園・保育園との交流

第6学年：領域2

1年生のお世話活動

	総合的な学習の時間	活動内容
前期	○スキルタイムでのお世話活動 (4月～5月)	○6年生が5～6人ずつのグループを作り、交代でゲームやぬりえ、折り紙などを1年生と一緒にやる。
	○給食でのお世話活動 (4月～5月)	○4月の給食開始日より、6年生が5～6人のグループで1年生の教室に行き、給食当番の補助や配膳の仕方を教えたり、一緒に給食を食べたりする。
	○掃除でのお世話活動 (4月～5月)	○給食後、掃除の補助を行ったり、やりかたを伝えたりする。
	○体カテスト (4月末～5月上旬)	○6年生と1年生がペアを組み、各テストのやり方を伝えたり、記録用紙の記入をしたりする。
	○プールでのお世話活動 (6月)	○プール開きの日に、6年生と1年生がペアになってプールに入る。
	○ふれあいスポーツフェスティバル (7月から9月)	○6年生と1年生がペアを組み、スポフェス当日に向けて、なかよしダンスやなかよし競技の練習を行う。
後期	○読書週間での読み聞かせ (11月)	○6年生と1年生がペアを組み、1年生に読み聞かせを行う。
	○ポートフォリオ作り (1月～2月)	○1年間行ってきたお世話活動について、1年生との活動やペアのことについてまとめる。

6年生から5年生への引きつぎの会(2月)

ポートフォリオをもとに、1年生のお世話の仕方や接し方などを5年生に伝える。